

『歯科薬物療法学 第8版』訂正表 (第8版第1刷)

2024年1月

ページ	行・箇所	訂正前	訂正後
122	26	麻酔作用をあわずと考えられている。	麻酔作用をあらわずと考えられている。
141	(Step by step 中) 10	アマンダジン	アマンタジン
141	18	② 副作用：痙攣，失神，肝機能障害，肝機能障害	② 副作用：痙攣，失神，肝機能障害
143	図 14-4	椎体外路障害	錐体外路障害
143	(Step by step 悪性症候群) 3	椎体外路症状	錐体外路症状
146	30	薬効・薬理	【削除】
146	34	中枢において選択的にセロトニンの再取り込みを阻害することで，脳内でセロトニンが長時間受容体に作用し，抗うつ作用，抗不安・パニック障害作用を示す。	薬効薬理：中枢において選択的にセロトニンの再取り込みを阻害することで，脳内でセロトニンが長時間受容体に作用し，抗うつ作用，抗不安・パニック障害作用を示す。
154	30	低酸素症	低酸素血症
155	40	強作用	強心作用
156	19	ネブリラシン (NEP)	ネプリライシン (NEP)
158	11	心筋酵素消費量	心筋酵素消費量
158	13	心筋酵素需給	心筋酵素需給
158	吹き出し	一般名：一硝酸イソソルビド硝酸イソソルビド	一般名：一硝酸イソソルビド，硝酸イソソルビド
163	23	薬効・薬理	薬効薬理
163	24	乾燥状態までは	乾燥状態または
164	17	歯肉圧排	歯肉圧排
169	1	(p.191 図 18-2 を参照)	(p.189 図 18-2 を参照)
170	アドバンス スタディ 24	オフロキサイン	オフロキサシン
175	26	催奇形性作用	催奇形成作用
176	1	併用により血糖降下作用を減弱する薬剤：アドレナリン，メチルプレドニゾロン，フェニトイン，副腎皮質ホルモン（メチルプレドニゾロンなど）	併用により血糖降下作用を減弱する薬剤：アドレナリン，フェニトイン，副腎皮質ホルモン（メチルプレドニゾロンなど）
183	27	(iii) ビタミン D ₃	(iii) ビタミン D ₃
183	37	(iii) 生体膜中に存在し，	(iii) 生体膜中に存在し，
193	18	(ii) 副作用（アドバンススタディ p.190 参照）	(ii) 副作用（アドバンススタディ p.200 参照）
248	(Step by step 中) 1	カルシーニユリン	カルシニューリン
248	(Step by step 中) 3	カルーシユリン	カルシニューリン
249	クイックテスト	2. グスベイムスは	2. グスベリムスは